

研究活動報告

国際セミナー「東アジア低出産力国における人口高齢化の 展望と対策に関する国際比較研究」

厚生労働科学研究費補助金・地球規模保健課題推進研究事業「東アジア低出産力国における人口高齢化の展望と対策に関する国際比較研究」では、2015年2月19日に国立社会保障・人口問題研究所、2月20日に京都大学で国際セミナーを開催した。科学研究費補助金により、韓国ソウル国立大学校社会科学大学の朴京淑 (Park Keong-Suk) 教授と、台湾中央研究院人文社会科学研究センターの于若蓉 (YU Ruoh-Rong) 博士が招聘され、韓国と台湾に関する報告を行った。研究プロジェクトのメンバーからは、筆者が導入部報告と進行をつとめ、馬欣欣・京都大学講師が中国に関する報告を行った。コメントータは相馬直子・横浜国立大学准教授と小島宏・早稲田大学教授がつとめた。いずれの会場も20名以上の参加があり、有意義で活発な議論が交わされた。

(共通プログラム)

1. Introduction: Low Fertility and Population Aging in Eastern Asia …SUZUKI Toru (IPSS)
2. New Mechanism of Elder Poverty and Inequality in South Korea: Family Change
and Stratified Labor-Welfare System ……PARK Keong-Suk (Seoul National University)
3. Familial Support and Living Arrangement of the Elderly People in Taiwan
……………YU Ruoh-Rong (Academia Sinica)
4. Population Aging and Public Health Insurance Reform in Rural China
……………MA Xin-Xin (Kyoto University)
(鈴木 透 記)

2014年度第2回日本人口学会東日本地域部会

2014年度第2回日本人口学会東日本地域部会は、2015年3月21日(土)に日本女子大学目白キャンパスで行われた。多岐のテーマにわたる下記8本の研究報告があり、20名を超える参加者との間で活発な議論が交わされた。

- 「新宿区の人口移動—住民基本台帳個票データによる分析—」……………丸山洋平 (福井県立大学)
- 「標準化による都道府県間移動数変化の要因分解」……………小池司朗 (国立社会保障・人口問題研究所)
- 「飛騨白川村山家地区からの明治前期北海道移民について—最終仮説の提示—」
……………飯坂正弘 (農研機構・中央農研センター)
- 「《地方創生》の結婚・出生促進効果について」……………原俊彦 (札幌市立大学)
- 「若い女性はなぜ西日本で多く、東日本で少ないのか—人口移動調査からの分析—」
……………林玲子 (国立社会保障・人口問題研究所)
- 「国際人口移動をめぐる東アジアの言説」……………鈴木透 (国立社会保障・人口問題研究所)
- 「なぜ高学歴女性の就業率は低いのか?—男女別学歴ミスマッチの影響の日蘭比較—」